



SANSHIN GROUP  
Monthly Report on the ESG  
Mar. 2025

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

# TOP MESSAGE

日本では年間約472万トンもの食品ロスが発生しています。近年、厚生労働省と消費者庁が策定した「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン ～SDGs 目標達成に向けて～」により、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰る動きが広がりつつあります。スーパーやコンビニでは、賞味期限の近い商品から購入する「てまえどり」が推奨され、消費者の意識も徐々に変わってきました。しかし驚くべきことに、お中元やお歳暮の時期には、未開封の菓子折がそのままゴミとして捨てられていることもあるそうです。食べきれない食品は、フードバンクへ寄付するという選択肢もあります。

家庭でも、ビジネスと同じように、需要（家庭での必要量）を正確に把握し、過剰な発注（購入）を防止し、在庫管理を徹底することで、無駄を大きく減らすことができます。一人ひとりの日々の小さな心がけが、食品ロス削減と持続可能な社会の実現に繋がるのではないのでしょうか。

サンシン電気株式会社  
執行役員 川口あすみ

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

東京では3/24が今年の桜開花日でした。桜の開花は今も昔も人々の関心ごとだったようで、なんと1,200年以上前の文献からも桜の満開日についての記述があるのだそうです。過去のデータを見ると1820年代ごろから開花日が早まっているとの事で、温暖化による気温上昇の歴史と関係性が指摘されています。地球温暖化が気候変動の一因であることは間違いないようです。(Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

Due to environmental threats to human life, such as energy depletion, climate change, and global warming, green technologies have lately emerged. Many governments have acknowledged the necessity of green technology, as well as the need for technological transformation and economic diversity. Additionally, it is estimated that the market for green technology and sustainability would expand faster throughout the projected period as more people become aware of the benefits of sustainable solutions. Thus, driving the Green Technology and Sustainability market revenue. Smart technology protects the environment and offers green IT within its bounds. (C.L.)

## CSI

セブの季節 12-5月が乾期。その中でも3-5月が1年で晴天率が最も高い時期です。常夏です。晴天時の直射日光は肌が痛くなる程です。日照が無い雨天時は結構肌寒い程です。1日の中での気温差が激しいので、風邪を引かない様に注意しております。(K.S.)

## SANSHINWest

2月末から各地で山火事が発生しましたが日本の山火事の99%は人為的なものが発端となっています。日本は温帯湿潤気候で四季がはっきりしていました。北日本も乾燥冷涼な土地とはいえ日本の伝統的な野焼きや焼畑は根付いてきました。しかし昨今の二季化に伴い日本は一年を通して乾燥が顕著に進んでいます。当たり前のように行っている野焼きや焼畑などが広域火災リスクを高める原因となり得ます。森林の適切な管理、防火帯の増設、薬品を使った焼畑の代替手法導入などの対策が急がれると同時に、個人としても過去の常識を疑い、柔軟且つ意識向上での防災活動を実行していきたいと思えます。(N.K.)

## SHINKOWA

本格的な春になるまでには、三寒四温と言うように3日寒くて4日暖かい日のような日々が続いています、体調管理をしっかりとしないとイケないですね。今月末には桜も満開の予報です、また工場近くの立派な桜の木が満開になって見られるのを楽しみにしています。(M.N.)

## SC2

【抗菌ゆでたまご】ゆで卵は優秀なたんぱく源ですが、コンビニで売られているようなものは殻が空気に触れる簡易なパッケージです。あるお店で人工香料臭のする卵を分析した結果、芳香剤系の成分が検出されました。卵の殻には小さな呼吸穴が無数にあり、内部への浸透も容易です。日頃合成洗剤を使っていてニオイがわからない人は要注意。知らないうちに芳香剤を食べているかもしれませんね...。(M.I.)

# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

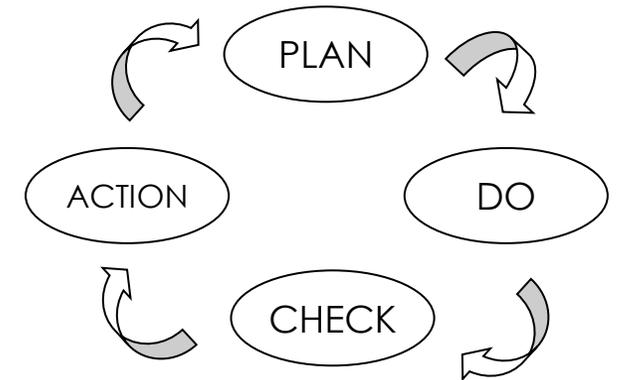
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

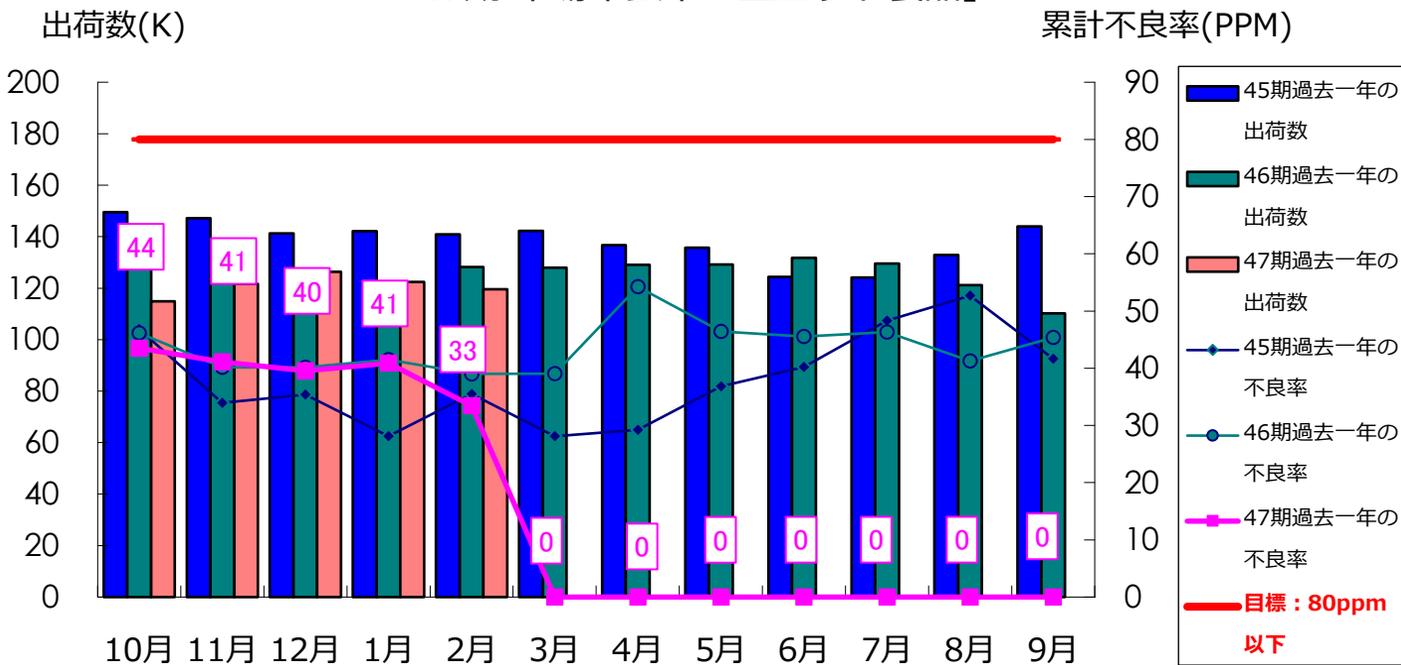
\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

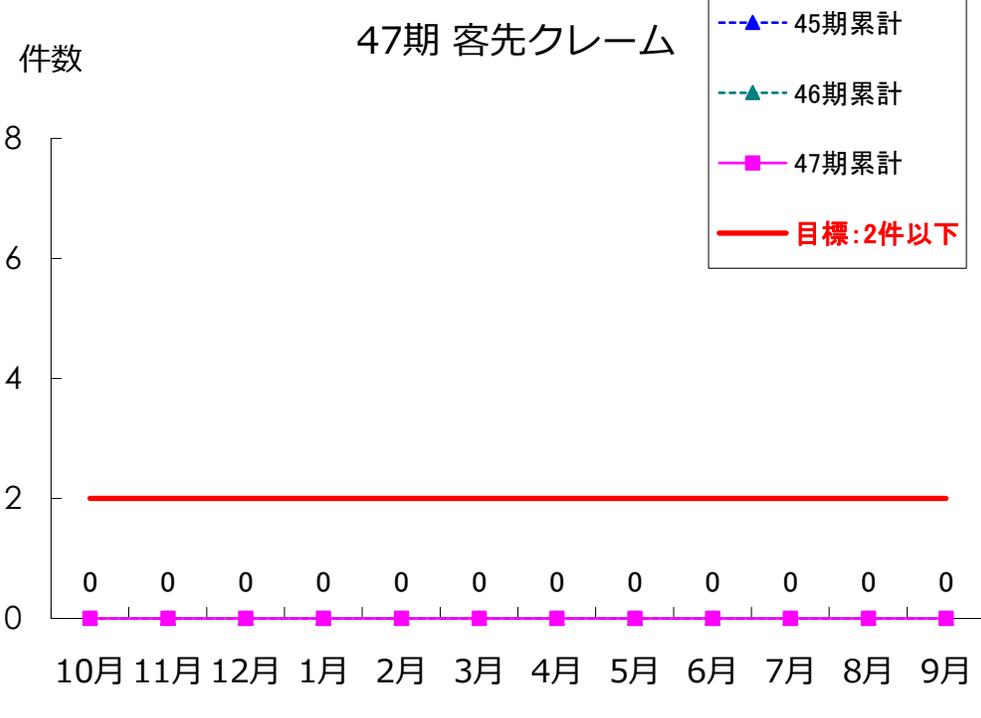
納入品不良率 (目標 : 80ppm)  
47期の累計不良率(解析依頼含む) : 33ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

### 47期 市場不良率「ユニット製品」



### 47期 客先クレーム



# ESG Report (環境)

# TOPICS

## □ 米高騰はいつまで続く？原因と政府の取り組みとは

近年、米の価格上昇が続き、消費者や食品業界に大きな影響を及ぼしています。特に、異常気象や需要の変化が、米の供給と価格に影響を与えています。

## ☑ 米の価格高騰の原因 | 猛暑の影響はどこまで？

米の価格が高騰している背景には、さまざまな要因があります。大きな要因として、2023年の猛暑により、全国的に米の生育に影響が出たことが挙げられます。高温によって生育不良が発生し、収量が減少したことが価格上昇につながりました。また、インバウンド需要の回復も米の価格高騰に寄与しています。訪日外国人観光客の増加により、外食産業やホテル業界での米の消費が増え、需要が一気に拡大しました。それに加えて、家庭での米の消費も増加傾向にあります。健康志向の高まりや、食の安全性に対する意識の向上から、国産米を選ぶ消費者が増えています。このほか、農業用機械の燃料費や肥料代、人件費など生産コストの上昇も、米の値上がりの一因となっています。

## ☑ 米の値上げはいつから？いつまで続く？

米の値上げが始まった時期や、今後の価格の見通しについて気になる方も多いでしょう。ここでは、過去の価格推移や現在の需給状況、今後の見通しについて解説します。

# TOPICS

## ☑ 米の値上げが始まった時期 | 米（5kg、10kg）の価格の推移

米の価格上昇は2024年の夏頃から本格化しました。スーパーの米売り場では、2024年の新米の店頭価格は5kgあたり3,500～4,000円が中心で、前年度から1,000～1,500円程度上昇しました。

また、2024年産米の同年12月の相対取引価格は、全銘柄平均で「24,665円/60kg」（411.08円/kg）となり、前年の同じ月に比べて「+9,275円（+60%）」となっています。2024年12月までの年産平均価格「23,715円/60kg」（395.25円/kg）は、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、比較可能な1990年以降で過去最高を記録しました。

## ☑ 米の需給状況の現状（2025年1月時点）

農林水産省が公開している資料では、2024年産の水田における作付状況が前年から減少していることが報告されています。

また、「みどりの食料システム戦略の実現に向けて」では、2024年の日本の年平均気温が観測史上最も高く、農林水産業に高温による品質低下などの影響が出ていると指摘されています。

## ☑ 米の需給状況の現状（2025年1月時点）

今後の米の需給については、2024年産主食用米等の生産量が679万トン、2024/2025年の主食用米等の需要量が674万トンと見通されています。また、2025年産の生産量も同水準の683万トンと予測されています。民間在庫量については、2024年6月末時点で153万トン、2025年6月末時点では158万トンといわれています。在庫量に生産量を加えたものが全体の供給量になることから、全体の供給量は需要を上回ると見込まれています。しかし、異常気象の頻発や、エネルギー価格の高騰に伴う輸送コストの上昇などの懸念事項は多く、価格が下がる要素は少ないのが現状です。

【資料】令和6/7年及び令和7/8年の主食用米等の需給見通し

			(単位:万トン)
令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153
	令和6年産主食用米等生産量	B	679
	令和6/7年主食用米等供給量計	C = A + B	832
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674
	令和7年6月末民間在庫量	E = C - D	158

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	158
	令和7年産主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年主食用米等供給量計	G = E + F	841
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末民間在庫量	I = G - H	178

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、第4の2のSBS方式による輸入米は含まれない。

注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

引用：農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より

# TOPICS

## ☑ 米の動向に対する政府の対応

米の価格高騰を受けて、政府もさまざまな対応策を打ち出しています。ここでは、「備蓄米」の活用の有無や補助金制度など、政府の対応について解説します。

## ☑ 政府が21万トンの備蓄米放出を発表 | 「備蓄米」の活用に慎重な理由

政府が備蓄している「備蓄米」は、主に緊急時の食料供給を目的としているため、市場への放出には慎重な対応が求められます。品質管理の面でも一定の基準を満たす必要があり、すぐに供給できる状況ではないことも活用されにくい理由の一つです。

そうした中、江藤農林水産大臣は2025年2月14日の記者会見で、21万トンの備蓄米を放出する方針であることを発表しました。

売り先は、「5,000トン以上の仕入れを行っている大手の集荷業者を対象」とし、申込数量は「特定の者による買い占めや、応札価格の高騰が起きないように、集荷実績に基づき上限を設ける。価格については、会計法令の規定に基づき、適正に設定したい」との見解を示しました。備蓄米の引き渡しは3月半ばに開始され、消費者の元に届くのは3月下旬頃からになりそうです。

## ☑ 米高騰に対する補助金と自治体の施策

米の価格高騰に伴い、政府および自治体はさまざまな対策を講じています。政府は、農家の経営安定を図るため、「経営所得安定対策」を実施しています。この対策の中で、諸外国との生産条件の格差を補正する交付金（ゲタ対策）や、農業者の抛出を前提としたセーフティネット対策（ナラシ対策）を実施しています。

また、農林水産省は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」を定め、生産者や集荷業者が自主的な経営判断に基づき、主食用米の需給安定に向けた生産と安定取引を推進するための指針を提供しています。

# TOPICS

## ☑ 食料自給率からみる米の現状

米の価格高騰とともに、日本の食料自給率の低下も深刻な課題となっています。ここでは、食料自給率の現状と、国産米の高騰による輸入米の需要増加について解説します。

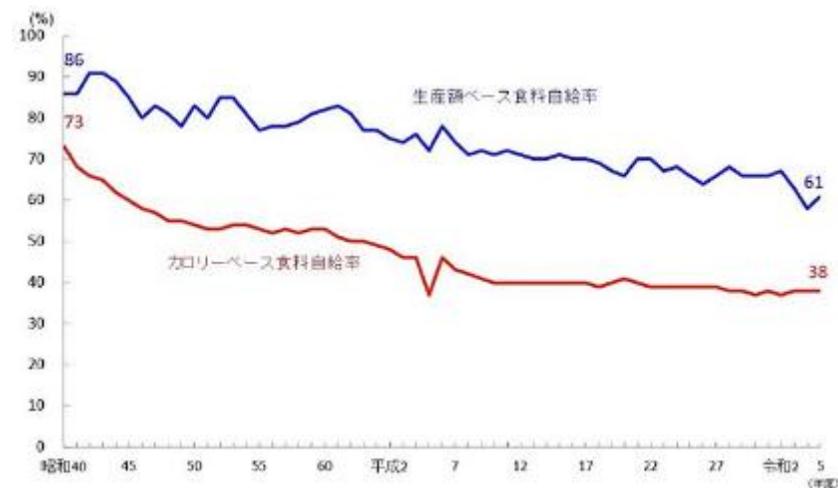
## ☑ 食料自給率の深刻な課題

日本の食料自給率（2023年度）は、カロリーベースで「38%」と主要先進国の中で最下位となっています。特に、主食である米の生産減少は大きな課題です。国内の農業人口の減少や高齢化も影響し、将来的な米の供給不安が懸念されています。さらに、気候変動による異常気象や自然災害が米の生産に影響を及ぼし、供給の安定性が揺らいでいます。

## ☑ 国産米の高騰による輸入米の需要増加

国産米の価格高騰に伴い、外食産業や加工食品メーカーでは、コスト削減のために輸入米の使用が増加しています。民間貿易で米を輸入する場合、通常高い関税がかかりますが、国産米の価格高騰により、「関税を払っても購入したい」という業者側の需要が高まっています。

2024年度の民間貿易による米の輸入量は、同年11月時点で399トンに上るとして、「これから民間貿易が増える」という予測も出ています。



引用：農林水産省「日本の食料自給率 | 食料自給率の推移」

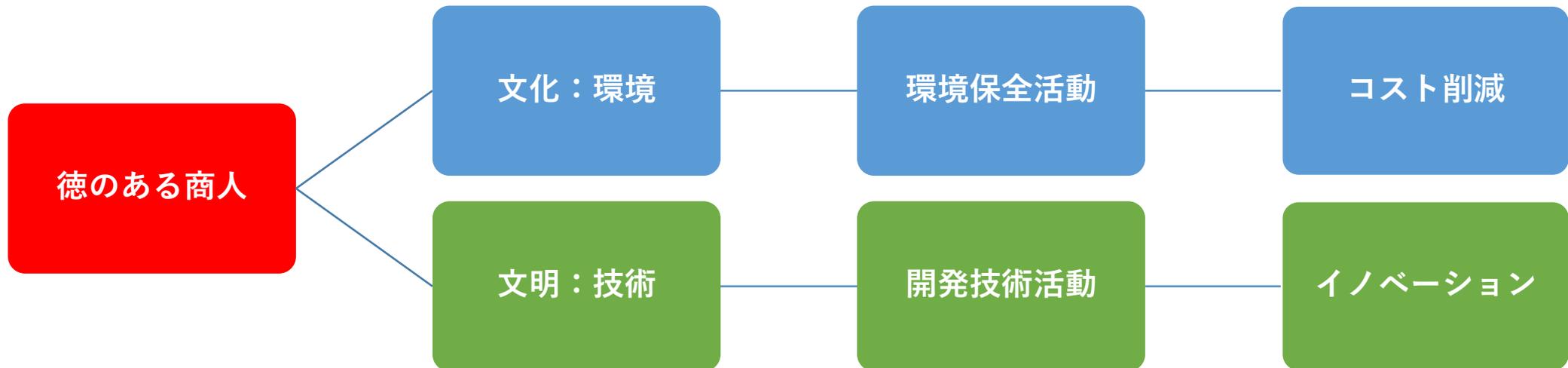
# サンシングループ環境経営への歩み

# 1. 環境経営の基本マインド

\* サンシングループ経営理念

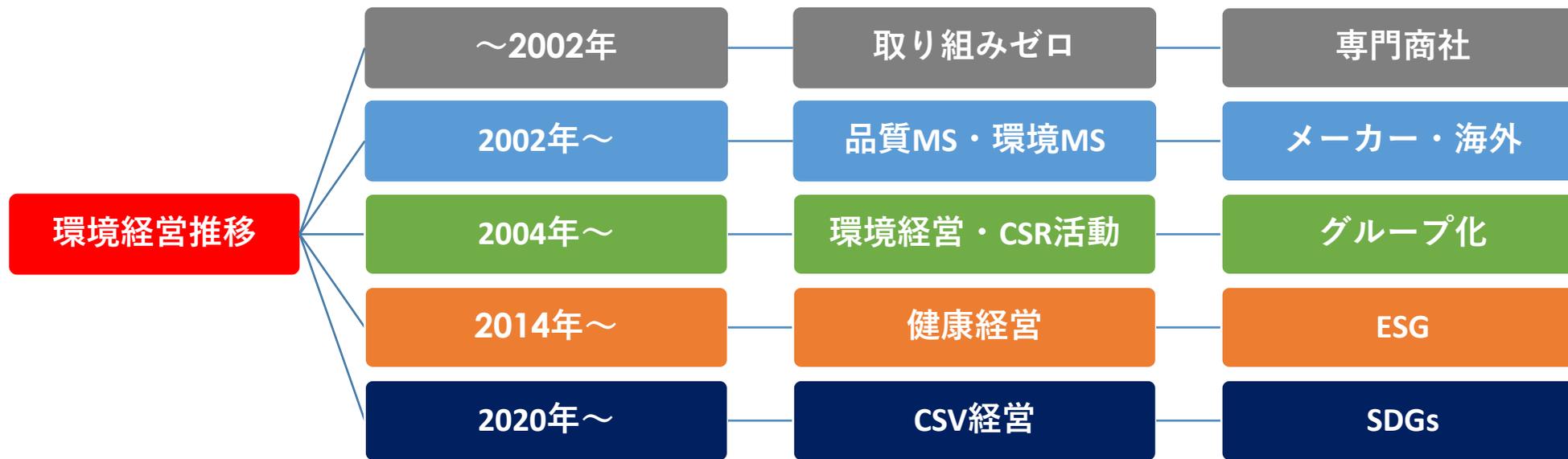
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



## 2. 環境への取り組み

### 2002年から現在までの経緯



## 2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

**健康経営**を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

**CSV経営**を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

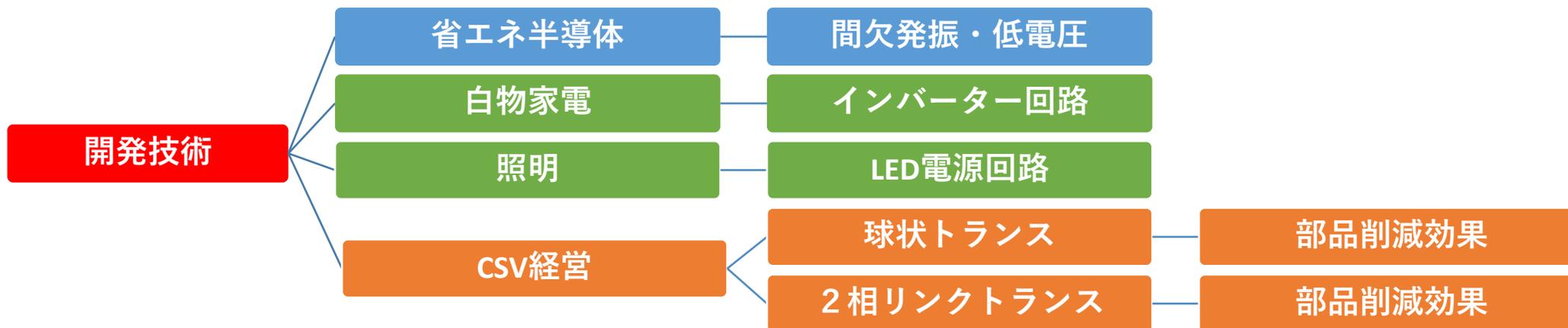
### 3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
  - **テレワーク**による電気/交通費削減
  - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
  - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
  - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

## 4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



## 4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

**LED照明用**の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

**環境とイノベーションを結び付けた技術開発**

**CSV経営 モノ×コト = 価値創造**

## 5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）  
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
  - 4：輸送配送
  - 5：廃棄物
  - 6：出張交通費（旅費除く）
  - 7：従業員交通費

## 6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



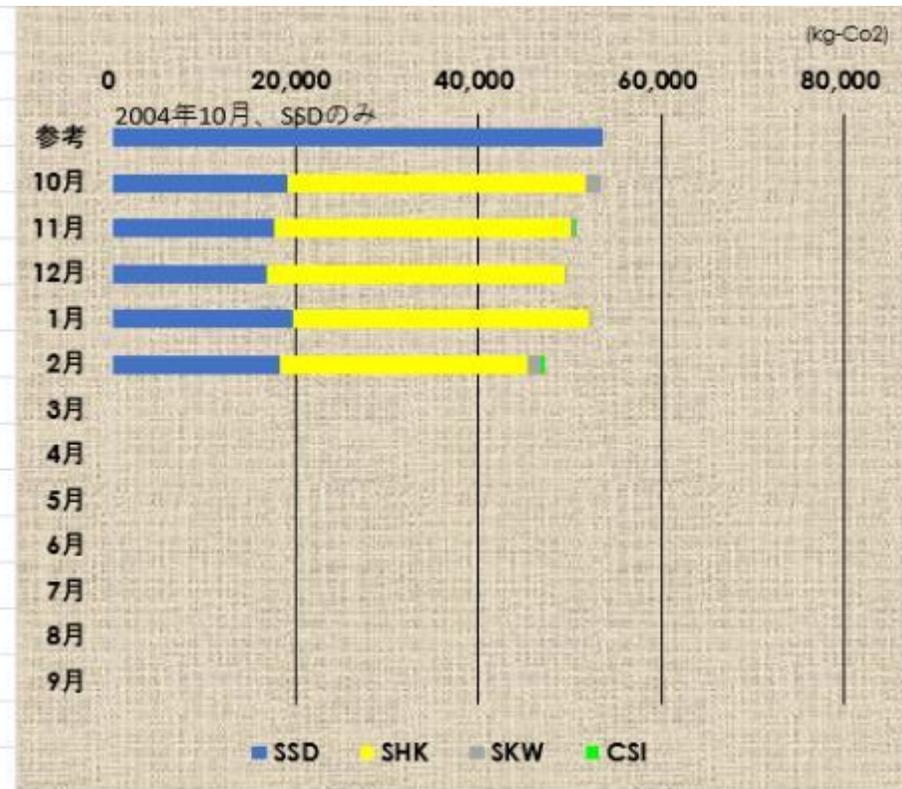
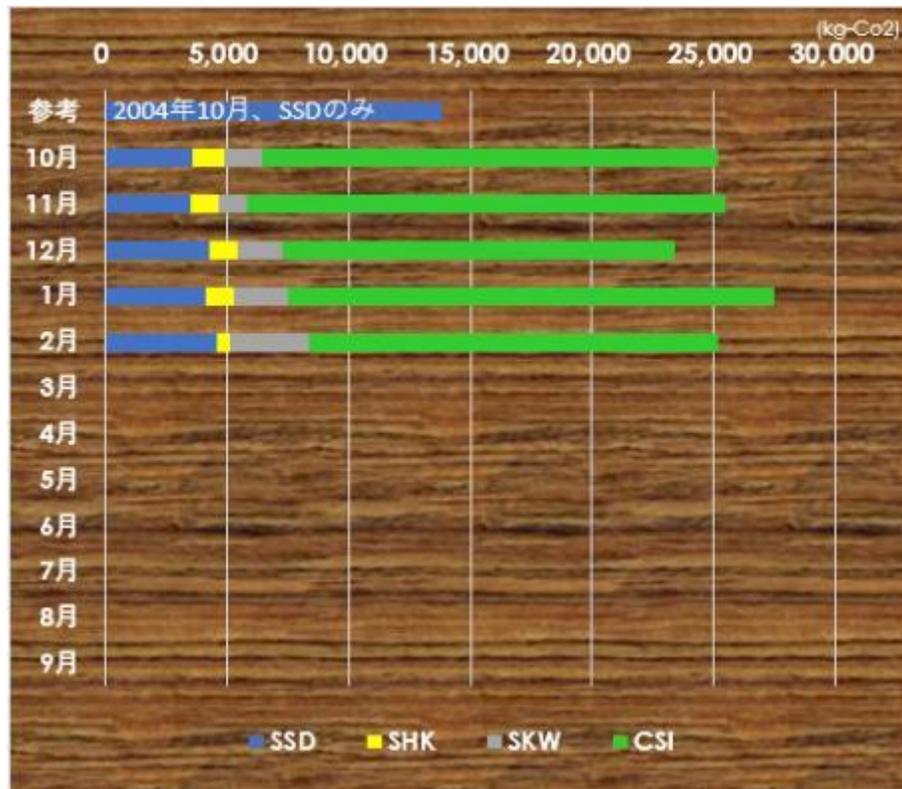
# 活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

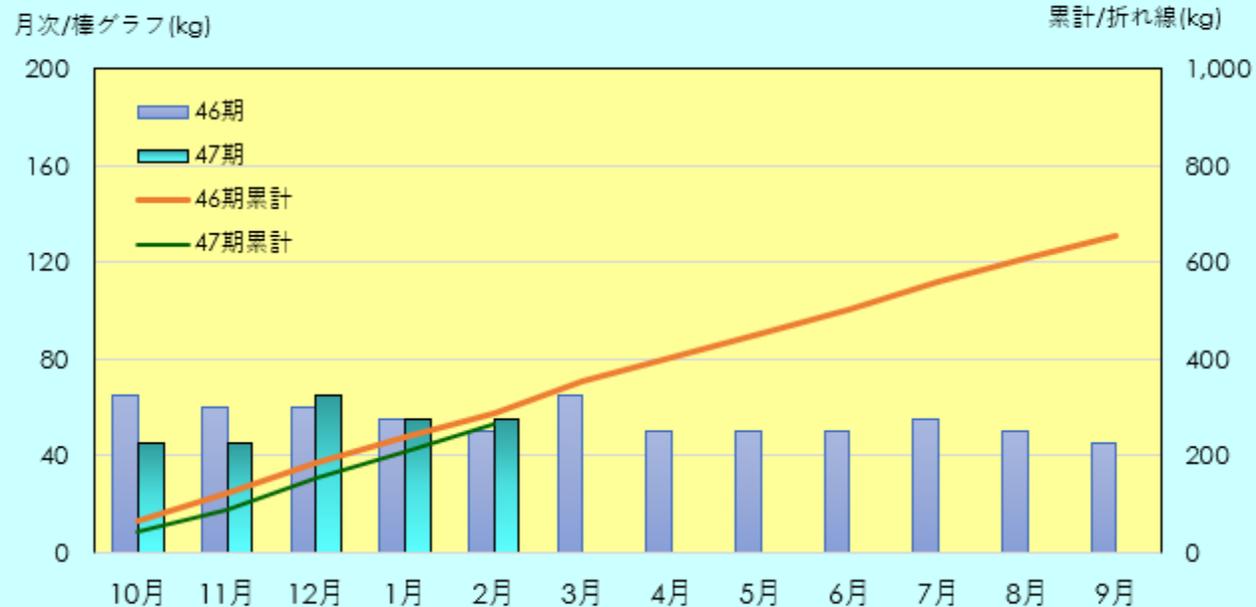
# SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

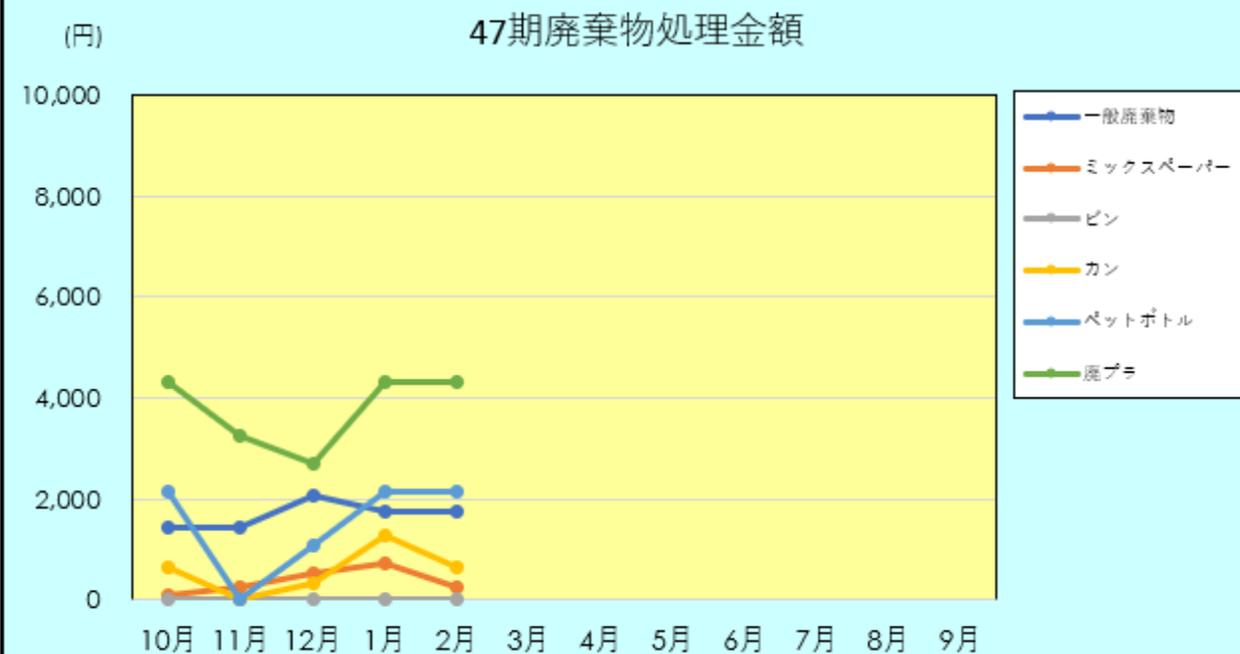
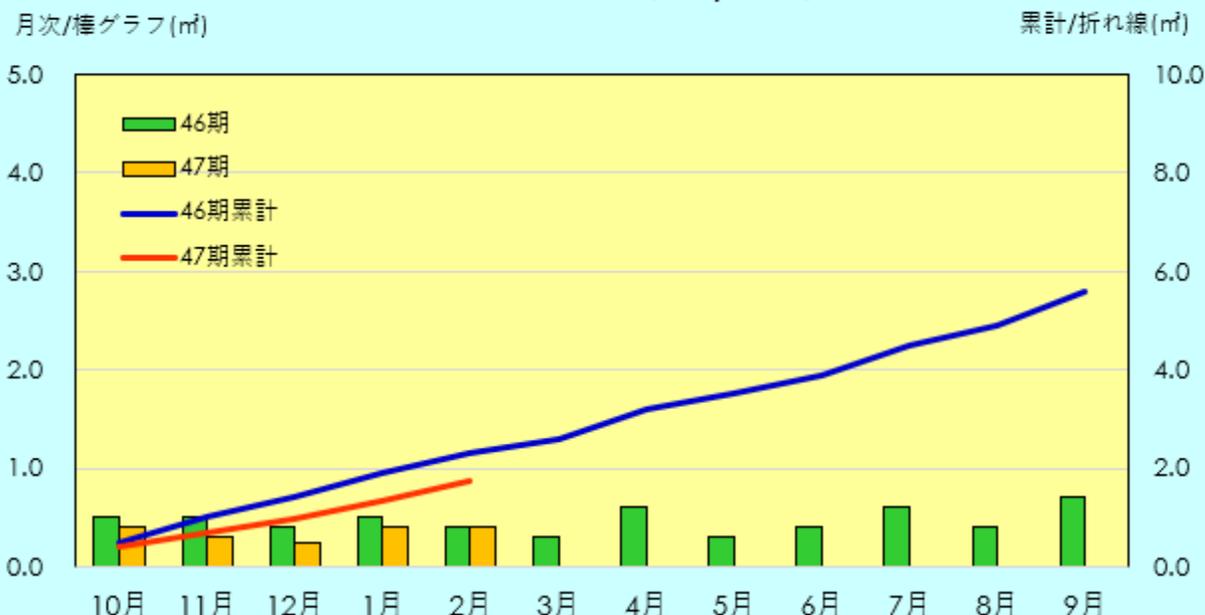
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



### 一般廃棄物 (SSD/本社)



### 一般産業廃棄物 (SSD/本社)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

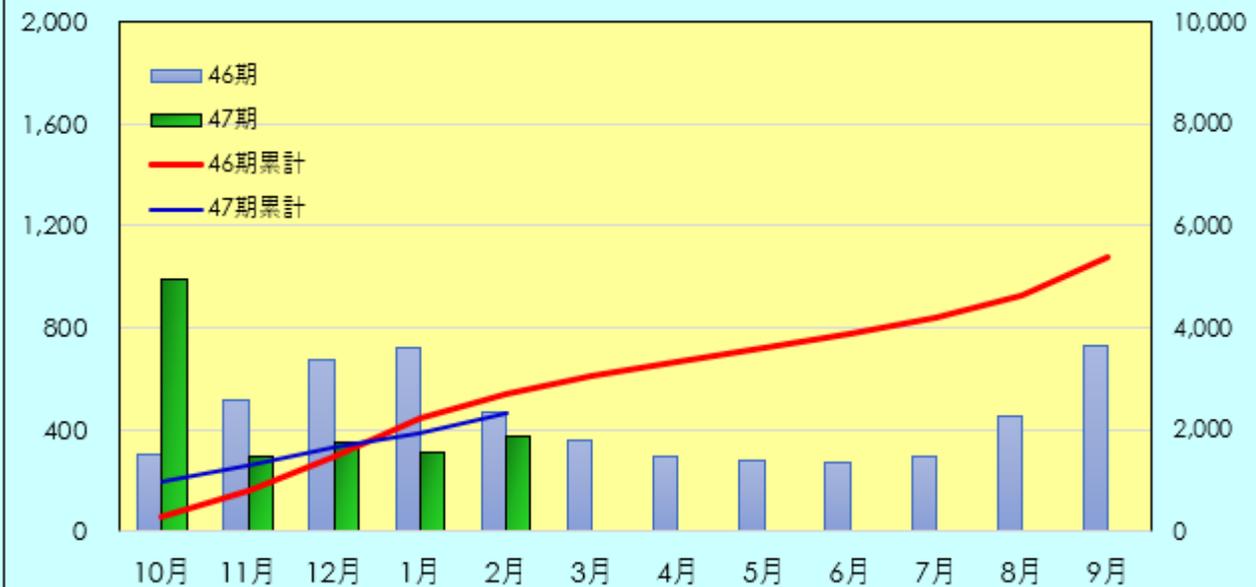
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

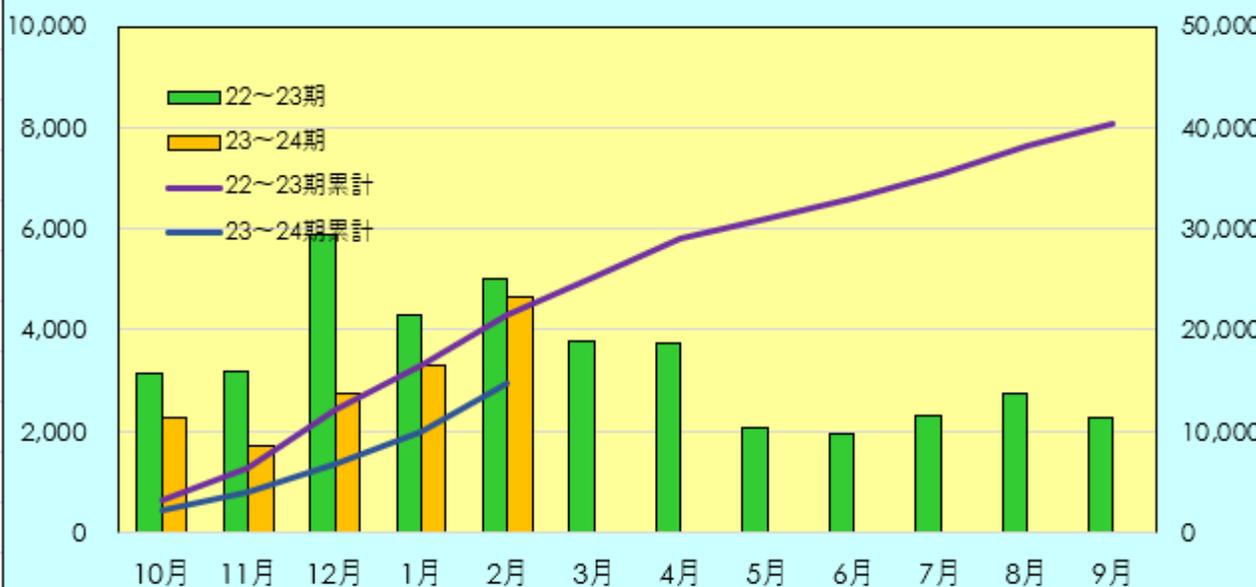
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

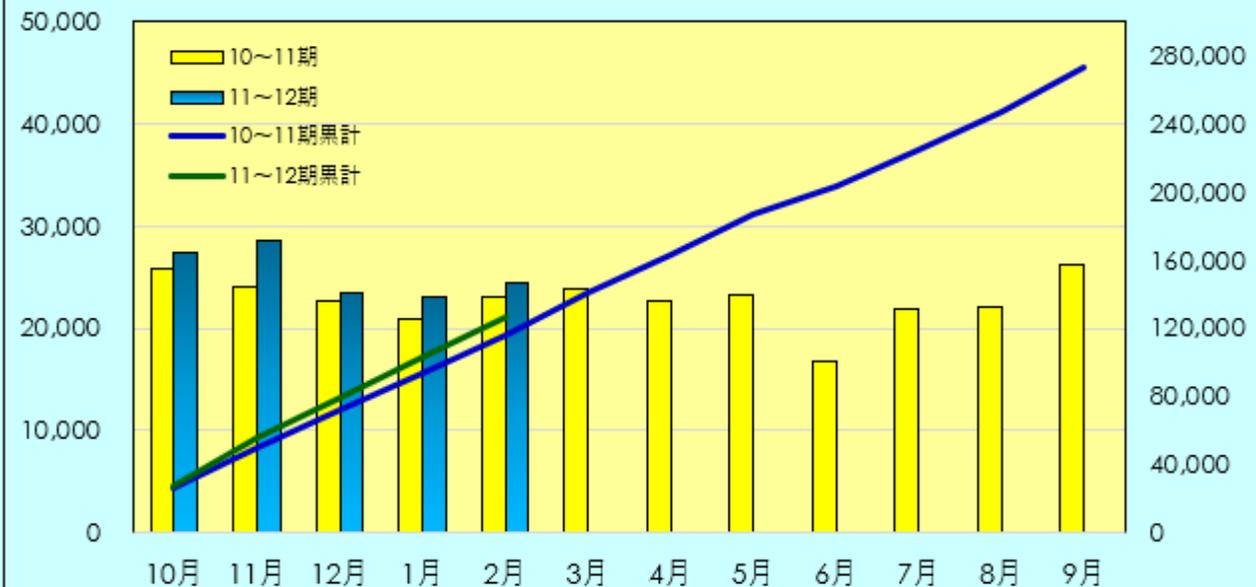
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

### ●お酒と健康のバランスを考えよう

皆さん、お酒はどのように楽しんでいますか？お酒はリラックス効果があり、食事の楽しみを広げる素晴らしい文化の一つです。しかし、健康を考える上で適量を守ることが大切です。

#### ■適量の目安

1日の適量は純アルコール換算で約20g（ビール500ml、日本酒1合、ワイン2杯ほど）とされています。適量を超えた飲酒は、肝臓への負担や生活習慣病のリスクを高める可能性があります。

#### ■健康的な飲み方のポイント

- ① 食事と一緒に楽しむ：空腹時の飲酒を避け、栄養バランスの良い食事と共に。
- ② こまめに水を飲む：お酒と同量の水を飲むことで、体への負担を軽減。
- ③ 休肝日をつくる：週に1～2日はお酒を飲まない日を設け、肝臓を休める。

健康とのバランスを意識しながら、お酒を楽しみましょう！



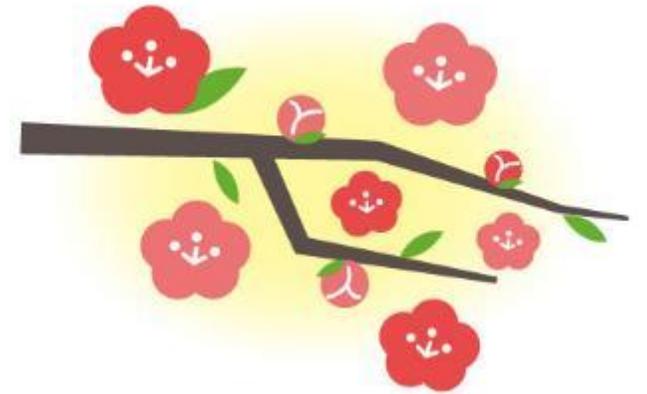
サンシングループは社員とそのご家族の健康と幸せのために、健康経営・健康づくりへの取り組みを積極的に進めて参ります。※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です

# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（2月参加人数：延べ5名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

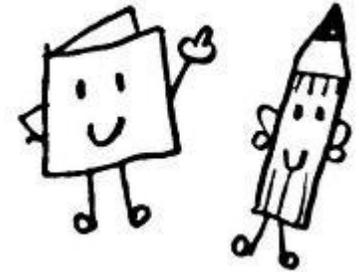


# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ EIGYOプログラムによる育成制度を整備しスキルアップを支援
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検、QC検定等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

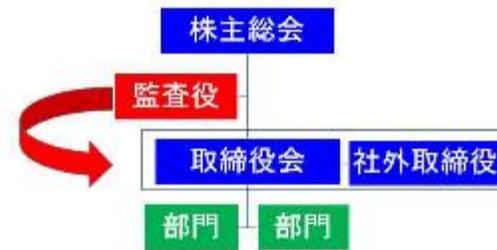
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

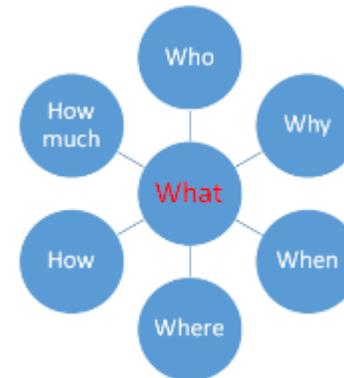


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



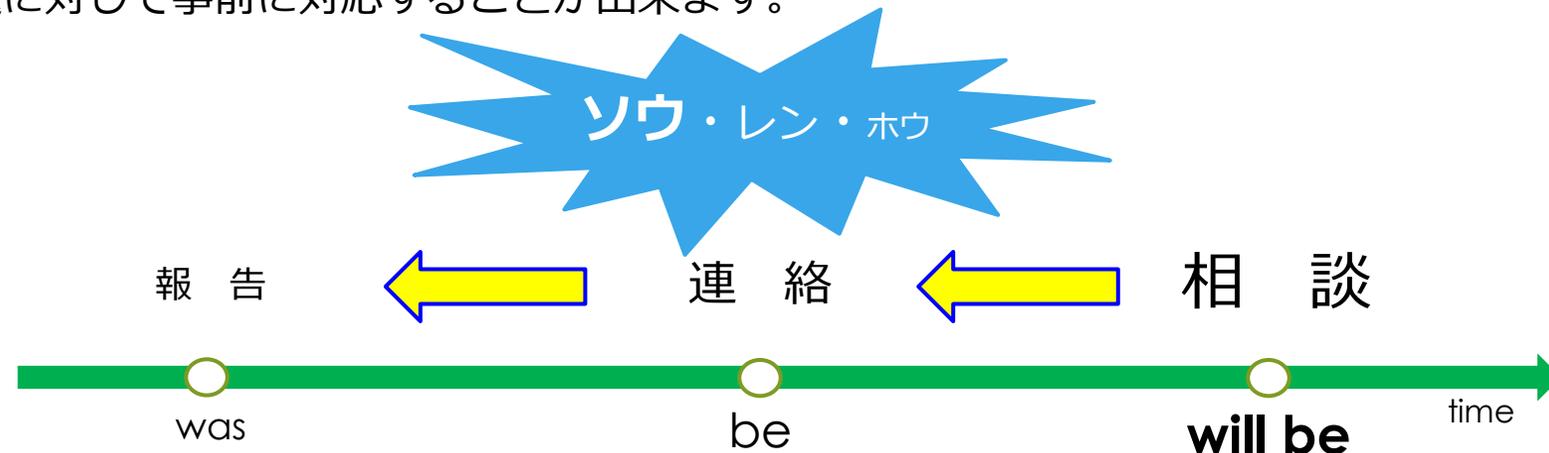
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

そろそろ花粉の季節となります。今年の飛散量は東北地方を除いて例年より多いそうで…。また、ティッシュの手放せない日々がやってきそうです。花粉の影響はストレスや集中力の低下を招きますので、ムリせず、頑張りすぎる事の無いように日々過ごしてみましょう。